



# ふうの木のある学校から

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 8月号 文責 校長

## 夏休み明け

今年の夏休み期間中、日本全国で様々な事件や事故が起こり、8月8日には大きな地震にも見舞われる中、西小の子ども達が元気に2学期を迎えられたことに感謝いたします。

1学期末に、

- ① 「命」を守ろう  
「もしも」を常に意識しよう
- ② 戦争について考えよう  
(8月6日、9日、15日)
- ③ オリンピックを応援しよう  
特に、パラリンピックを応援しよう

という願いを子ども達にしました。

具体的に子ども達の様子を見たり、話を聞いたりしているわけではありませんが、

- ①については、よくできました。
- ②については、原爆記念日、終戦記念日に係るテレビ番組等を視聴して、平和の大切さを考えてほしいという意図がありました。
- ③については、4年に1度のスポーツの祭典でのトップアスリートの活躍を見てほしい。パラリンピックにおける出場者の一挙手一頭側を見て、何かを感じてほしいという思いがありました。

「宿題の消化や、作品の制作等に時間をとられた」「テレビの放映時刻に間に合わなかった」等々、それぞれの夏休みがあったかと思えます。

今年の反省を覚えておいて、来年の夏休みはこんなふうにご過ごししてみよう！とご家庭で話し合ってみるのも面白い取組かと思えます。

(鬼が笑いそうですが・・・小笑)

## 「1がっき」をふりかえって

1ねん ほんぶ みこと

わたしは、一がっきがんばったことが3つあります。

一つめは、さんすうです。わたしは、たしざんとひきざんをがんばりました。さいしょは、ぶろっくをつかっていたけど、たくさんれんしゅうして、あたまの中がかんがえてこたえがわかるようになりました。なつやすみも、たくさんれんしゅうしたいです。

二つめは、たいいくです。プールで、かおをつけてうけるようになりました。できるようになって、とてもうれしいです。なわとびのあやとびもできるようになりました。もっとれんしゅうして、にじっかいとべるようになりたいです。

三つめは、といれのすりっぱならべです。じぶんのものと、ともだちのすりっぱをならべました。すりっぱがきれいにならぶときもちがいです。これからも、つぎのひとのためにきれいにならべたいです。

二がっきは、うんどうかいがたのしみです。二がっきも、みんなとおべんきょうをがんばります。

(原文のまま記述しています)

7月19日(金)の終業日に発表した2名の作文を掲載しています。

およそ70日の1学期で「できるようになったこと」「わかるようになったこと」「がんばったこと」が、たくさん紹介され、他の子ども達にもいい影響を与えていると思います。

これからも、子ども達の「できる」「わかる」「がんばる」が一つでも二つでも増えていくように見守り、励まし、支援していきたいと考えておりますので、この2学期も変わらぬご協力をお願いいたします。

## 一学期をふり返って

六年一組 猪上 陽司

ぼくは、六年生になる前、複数の目標を決めていろいろなことをがんばってきました。その目標の中で四つできるようになったことがあります。

一つ目は、水泳で平泳ぎができるようになったことです。五年生の時は、平泳ぎが全くできずにいました。しかし、スイミングスクールで平泳ぎを練習したり、学校で日高先生に教えていただいたりしていくうちに、どんどんコツをつかんで、できるようになりました。そのおかげで6年生では、きれいに二十五メートル泳ぐことができました。

二つ目は、外国語の単語の意味をちゃんと理解することができたことです。五年生のころは、外国語の単語をあまり理解せずにいましたが、じゅくで英語をしていくうちに、単語の意味が分かると楽しいと感じてきて、学校での英語の学習もどんどん理解が進んでいきました。

( → へ 続きます)

三つ目は、複数の教科のテストでよい点数を取れたことです。特に苦手な理科や算数は、五年生の時に悪い点数をとったことがありました。その反省を生かし、六年生になってからは、自主勉強で苦手なところを復習してテストに備えていました。すると、苦手な理科や算数でも良い点数がとれました。

四つ目は、漢字の小テストでよい点数をとれるようになったことです。六年生の初めのころ、漢字小テストをやった時、あまり漢字が書けなかったことがありました。その時から家で漢字の練習をした結果、小テストで良い点数をとることができました。しかし、この四つとはちがって、もう少しだなと思ったこともありました。例えば、算数の図形で書きまちがえたり、テストを見直さないでミスをしたりしたことです。テストでは、しっかり見直しをする習慣を身に付けていきたいと思います。

二学期は、運動会や修学旅行があります。

運動会では、チームプレイを発揮し優勝したいです。修学旅行では、どこへ行っても礼正しく行動したいです。一学期にできるようになった学習面に加え、運動会や修学旅行でも六年生らしい態度でのぞめるようにしていきたいです。

## されて嫌なこと、言われて嫌な言葉

「自分がされて嫌だと思うこと」をしない、「自分が言われて嫌だなど感じる言葉」を使わない、という指導を幼い頃から受け、育ってきました。

教員になってからも、朝の会や帰りの会、道徳や人権感覚を養う時間に、しつこいほど説明(説教?)していたように思います。

私の指導の様子を観ていた先輩から、

「先生の指導で、『自分がこうされたら嫌だ』『自分がこう言われたら嫌だ』と、その場で、相手に直接伝えることができる児童が何人いますか？」

という質問をいただき、困ってしまったことがあります。

「5年後、10年後、子ども達は先生や親から離れ、社会に出て様々な人と出会い、生活します。決して『親切かつ優しい行為、温かい言葉かけ』を受けるばかりではないですよ？」

その時、自分から『そうされて嫌な気持ちになりました』『こう言われて傷つきました』と言える力は、自分の体や心を守る武器になります。そういったスキルトレーニングも取り入れるといいですね。」

と続けてアドバイスをいただきました。

様々な仲間(友達)と生活する時間と空間がある学校です。楽しくない経験もします。

「自分の気持ちを相手にきちんと伝える」機会をしっかりと確保し、日常生活でも活用できる指導支援に努めていきます。